

# やまぐち

参加費無料

# おもてなし研修会

●山口DC・明治維新150年を契機におもてなし維新●

9月～12月に行われる「幕末維新やまぐちデスティネーションキャンペーン」や平成30年の明治維新150年に向け、山口県のファン及びリピーターを獲得するために、来県者の求める視点や、それぞれの立場でできるおもてなしを学び、県民一人一人が山口県の良さをしっかりと伝えられる存在となっただけを目的とした研修会を、**県民全ての方にご参加頂けるように県内3つのエリア**で開催します。

是非、皆様お誘いあわせの上、お近くのエリアの研修会にご参加下さい。

メインテーマ

「やまぐち県の良さを活かした目指すべきおもてなしとは」  
～来訪者が旅で実現したいことにどう応えるべきか？～

中央部

7/18 火

山口市  
ホテルかめ福

定員：150名

観光振興についてキーワードとなっている「おもてなし」。しかしながらその本質については、正しく理解されていないのではないでしょうか。「おもてなし」を考える上では、人々は旅で何を体験したいかを考える必要があります。本セミナーでは、これから山口県の良さを生かしてどのようにお客様をお迎えし、どんな旅をお手伝いするのか、おもてなしの本質について考えたいと思います。



講師  
山下 真輝

メインテーマ

「訪れる人・住む人の満足度を高めるおもてなしを目指して」  
～ICT環境の変化の中、来訪者と地域の満足度を高めるおもてなしとは～

東部

7/20 木

柳井市  
柳井市文化福祉会館

定員：100名

ICT環境の変化により人々の知的欲求を満たす手法は簡単になりました。そんな中で山口に訪れる人の「現実」の満足度を高めるにはどうしたらよいのでしょうか。岩国で行ったSNSマーケティング事業に見る「SNS発信という働きかけと人々の気持ちの動き」や、尾道で行った「着地型旅行商品をきっかけとした地域ブランディング事業」での検証から、来訪者と地域住民の満足度を高めるおもてなしプランとは、をテーマにお話します。



講師  
徳政由美子

メインテーマ

「山口県のおもてなしは三本の矢で」  
～知識と気持ち、伝える技術の3つが揃って本物のおもてなしになる～

北西部

7/26 水

下関市  
海峡メッセ下関

定員：100名

東京オリンピック誘致の際一気に有名になった「おもてなし」日本独自の文化として世界に広まりました。今回は、「知識」「おもてなしの気持ち」「知識やおもてなしの気持ちを伝えるための技術」、この3つはどれも大切なもので、しかもどれも同じように大切なものということをお話する中で、「山口県ならではのおもてなし」を皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。



講師  
中村 雅子

主催 一般社団法人 山口県観光連盟